

輸出事業計画

※申請者名：佐藤醸造株式会社、品目：味噌・醤油・ソース
混合調味料

1. 輸出における現状と課題

【生産・製造】

- ・人手がかかる作業が多いため、労働力不足に対応するための効率的な生産体制を構築する必要がある。
- ・欧州では包材に関する規制に対する対応が求められる。
- ・食品安全への対応が求められる。

【流通】

- ・大手メーカーと比べ、販路や価格競争力に劣る。
- ・新規市場への販路の拡大。

2. 輸出事業計画の取組内容

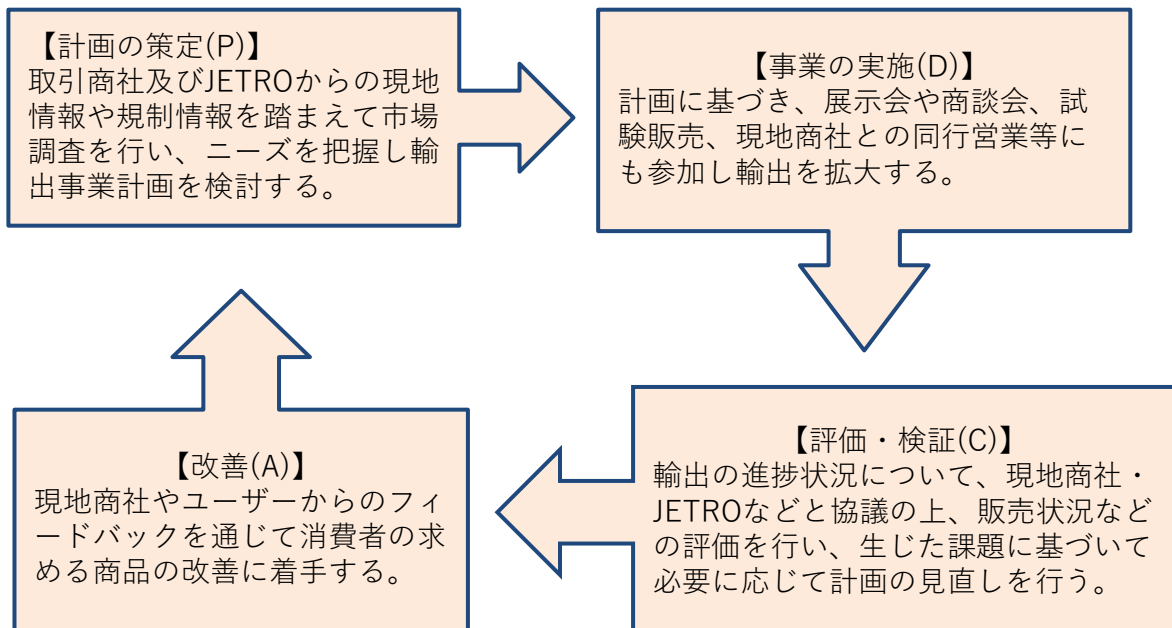
【生産・製造】

- ・効率的な製造を行う新規設備の導入を行う。
- ・包材メーカーと打ち合わせの上、規制に適合する包材を検討する。
- ・FSSC22000の認証を継続し、食品安全に関するPDCAサイクルを有効に保つ。

【流通】

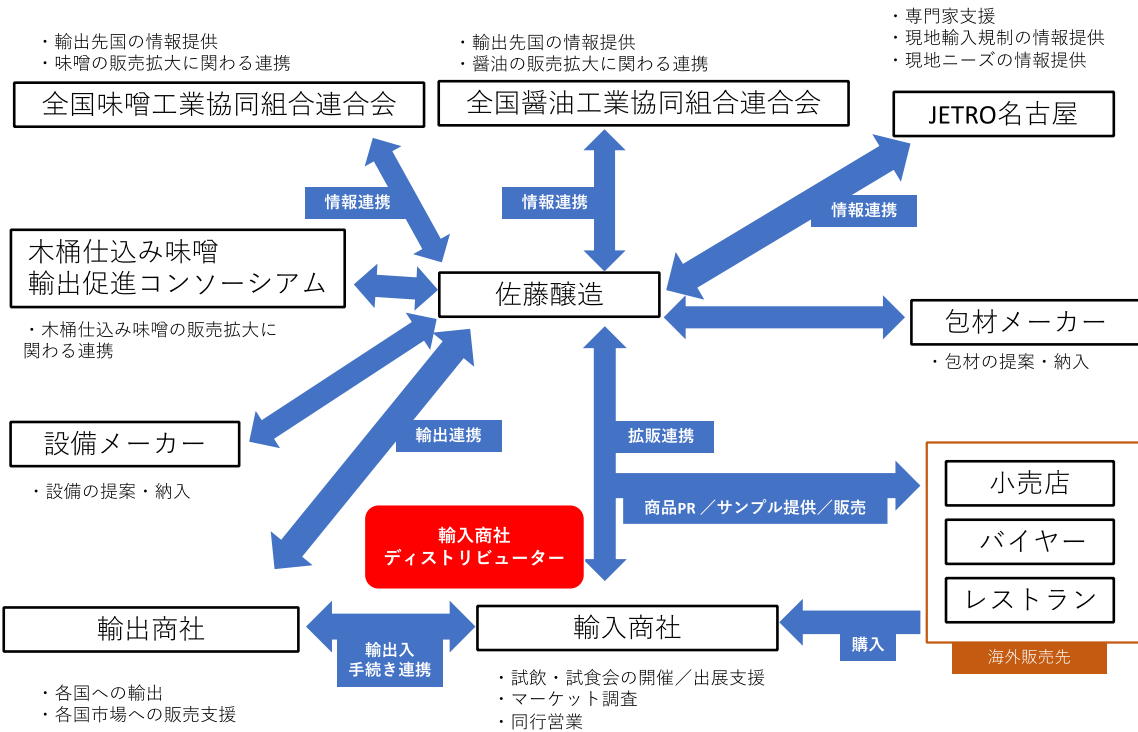
- ・価格競争によらない販路開拓を展開するために、付加価値を高めるため「豆味噌」「たまり」の希少性、優位性についてPRを行う。
- ・全国醤油工業協同組合連合会やJETROと連携し、展示会・商談会への出展を積極的に行い、米国やイタリアなど新たな販路を開拓する

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



輸出事業計画

※申請者名：佐藤醸造株式会社、品目：味噌・醤油・ソース
混合調味料



4. 輸出目標額

味噌	【現状】 令和3年度	【目標】 令和8年度
輸出額	200千円	2,000千円
主な輸出先	フランス	フランス・イタリア・米国

醤油	【現状】 令和3年度	【目標】 令和8年度
輸出額	800千円	8,000千円
主な輸出先	イギリス・中国・フランス・UAE	中国・フランス・UAE・米国・イタリア

ソース混合調味料	【現状】 令和5年度	【目標】 令和8年度
輸出額	800千円	15,000千円
主な輸出先	フランス、イギリス・タイ	フランス・イギリス・タイ・米国・イタリア